

## 第4章 産業振興の基本方向

### 1 産業振興に取り組む共通の目標

産業振興に取り組む共通の目標

**豊かな生活・文化都市 高槻を支える  
活力ある産業づくり**

本市は平成13年1月に策定した第4次高槻市総合計画において、まちづくりの目標とする将来の都市像を「心ふれあう 水とみどりの生活・文化都市」と決めました。

そして、緑豊かな自然と歴史遺産、多様な都市機能や活動的な市民力など本市の優れた魅力や能力を存分に活かしながら、人々の交流の広がりによってにぎわいと繁栄をもたらし、豊かで文化的な暮らしが営める、そのような個性的で風格ある都市の実現をめざしています。

21世紀初頭、わが国は社会経済のあらゆる面で大きな変革の時代を迎えており、地域社会においては自立や活性化が求められています。

自立や活性化の基本となるものは経済基盤であり、また市民の豊かで文化的な暮らしを進めるためにも、産業を振興し、働く環境を創出することがますます重要な都市政策となります。

本市は大都市圏の生活都市として、また近隣都市とともに繁栄する中核市として、本市の産業やまちづくりに関わるあらゆる企業、関係機関、市民が「豊かな生活・文化都市 高槻を支える 活力ある産業づくり」を共通の目標として、「生活文化都市にふさわしい産業のあり方」を追求し、「生活と産業が調和するまち高槻」の実現に挑戦していきます。

## 2 産業振興の基本方針

21世紀初頭において、市民が誇りをもって「わがふるさと」を実感できるまち「高槻」を実現するためには、活力ある産業に支えられた都市経営を継続して遂行することが求められます。

そこで、高槻市産業の振興に当たっては、「生活文化都市にふさわしい産業のあり方を追求する」という主題のもとに、「雇用の創出と確保」を最重点の課題として掲げ、全ての関係者が共有する基本方針を次のように定めます。

### (1)「生活文化都市」をめざして暮らしの経済を活性化する

持続可能な「生活文化都市」をめざして、ここに集う36万人の市民生活を通じてビジネスや産業を育て、生きがいと就業の場を生み出し、暮らしの経済の活性化を図ります。

このような新しい地域内循環型経済の仕組みによって、豊かで文化的な暮らしが営める成熟都市への道筋を切り拓いていきます。

### (2)「産業立地都市」をめざして拠点性を強化する

中核市にふさわしい「産業立地都市」をめざして、人や企業が立地したいと思うような産業活動の行いやすい基盤を整備し、また、高槻市産業をリードする中核的企業や意欲ある有望企業の技術革新・経営革新を集中支援して、大阪と京都の都市圏における産業立地の拠点性を高めます。

このようにして、中長期の視点から、安定した雇用と持続的な税財源が確保できる産業構造を構築していきます。

### (3)「集客都市」をめざして風土を醸成する

多くの人々が交流する「集客都市」をめざして、市民がわがまちに誇りを持ち、温かいもてなしの心で通勤・通学、ビジネス、買物、観光などの来訪者を迎える開放的な風土を育てます。

このような取り組みによって、外部からの文化的・経済的・刺激的刺激を受け、広域的な集客力を持つ質の高い商業・サービス・業務機能のより一層の集積を促進します。

(4)「新事業創造都市」をめざして環境を整備する

まち全体が、創業、新規事業の進出を歓迎し応援する「新事業創造都市」をめざして、市民生活と産業活動が融合する気風を高め、本市において起業や新規事業が進めやすい環境を整えます。

そのような中から、わがまちに愛着を持ち、高槻のまちと共に歩む多くの企業を輩出し、生活と産業が調和する都市へと導いていきます。